



発行所
鯉 漁船海難遺児育英会
〒101-0047 東京都千代田区
内神田2丁目2番5号
光正ビル6階
電話 03 (3256) 1981
FAX 03 (3256) 1982
E-mail: mizuuro.ikuei@eos.ocn.ne.jp
水色の羽根募金運動

平成十七年度事業報告・決算等を承認

平成十八年度第一回理事会・評議員会

本会は、去る五月三十一日(水)、平成十八年度第一回理事会・評議員会を東京都千代田区のコ・ビルで開催しました。

理事会で冒頭挨拶にたった鈴木俊一理事長は、「平成十七年度、本会を取り巻く環境は、長引く低金利と燃油の高騰をはじめとする水産業界の苦境が厳しい影を投げかけたが、延べ四一〇余名の奨学生に対して滞りなく育英事業を実施する事が出来た。改めて支援者各位のご協力に感謝申し上げます。また、創立三十五周年を記念して

本会は、去る五月三十一日(水)、発行した海難遺児と母の文集が朝日新聞の天声人語で取り上げられるなど、大きな反響を呼んだことは、海難遺児や我々の活動に対する理解が国民の皆様になからず進んだ喜ばしい出来事であった」と述べました。

会議は、平成十七年度事業報告及び収支決算、並びに正味財産増加額処分計算書について原案のとおり承認・可決しました。

平成十七年度事業の概況は別掲のとおりです。

◎事業の概況

1. 学資給与事業

幼児から高校生等までの奨学生348名に対して合計60,487,000円を給与した。

また、小学校新入生10名に500,000円、中学校新入生33名に990,000円を入学記念品代として贈呈した。

2. 奨学金貸与事業

高校等奨学生13名に2,340,000円と入学一時金を6名に600,000円、また、大学等奨学生49名に29,400,000円と入学一時金を11名に5,100,000円の合計37,440,000円を貸与した。

なお、貸与金の返還総額は57,448,700円であった

3. 育英事業推進事業

漁船海難遺児を励ます全国協議会、同地方協議会及び全国漁協女性部連絡協議会等の協力を得て、全国各地で行われた各種イベントにおいて募金・広報活動を行った。

また、創立35周年に当たり、漁船海難遺児と母の文集第7集「メール 空まで届いてほしい」を3,300部作成し、育英事業の理解促進を図るため広く配布した。

4. 寄付金・助成金

水産業を取り巻く環境が厳しさを増す中ではあったが、55,671,000円余の寄付が寄せられた。また、前年度に引き続き日本財団から、学資給与事業に対し6,600,000円の助成金が交付された。

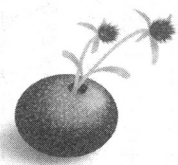
戦没・殉職船員追悼式

五月十二日(金)、神奈川県横須賀市観音崎公園内「戦没船員の碑」にて『第三十六回戦没・殉職船員追悼式』が行われ、約六五〇名の関係者が参列しました。

この式典は、先の大戦で尊い犠牲となられた戦没船員六〇、六〇八名及び、海難や労働災害により不幸にして殉職された船員二、八五五名の慰霊と海上永遠の平和を祈念するため、ご遺族並びに(財)日本殉職船員顕彰会をはじめとする関係者の方々によって毎年実施されています。

亡き船員の方々のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

※数字は平成十八年五月現在のものです。



兵庫県漁民物故者 合同供養祭

六月十一日(日)『第三十一回 兵庫県漁民物故者合同供養祭』が、和歌山県高野山「兵庫県漁民物故者合同慰霊塔」にてしめやかに執り行われました。

この供養祭は、県内の漁業・水産業の振興発展に努力された方々の偉業を顕彰し永代供養並びに、不慮の災禍の絶滅を祈念するため毎年行われているもので、今年は新たに一七三柱のご尊霊が合祀されました。

物故者におかれましては、心よりご冥福をお祈り申し上げます。

第五十六回

浅海増殖研究発表全国大会

五月三十日(火)、日本一の海苔生産地である佐賀県「佐賀市文化会館」において『第五十六回浅海増殖研究発表全国大会』(浅海増殖研究中央協議会・全国海苔貝類漁業協同組合連合会主催)が開催され、全国から関係者約三、〇〇〇名が集まりました。また、大会と並行し、会館近くの「佐賀県総合運動場」では『有購会海苔生産機械・資材展』も開かれました。

当日は、大会主催者ご理解のもと、朝早くから地元佐賀県有明海漁連はじめ信漁連・青色申告会の職員の方々とともに各会場入口付近にて水色の羽根募金を呼びかけ、来場された多くの皆様より温かいご支援を賜うことができました。ここに深く感謝申し上げます。

JF全国女性連総会で 育英事業の現況を報告

JF全国女性連(全国漁協女性部連絡協議会 尾山春枝会長)の平成十八年度通常総会が六月十四日(水)、東京都港区の虎ノ門パストラルで開催され、本会の佐藤信三専務が育英事業の現況などについて報告を行いました。

JF全国女性連は、漁船海難遺児育英事業発足以来の強力なサポーター。そもそも本会を設立する契機となったのも、浜の女性達があげた「仲間の残した子供達に励ましの手を」という声からでした。各地の浜で活動するJF女性部は地域ごとに様々な形で遺児達を励ましていますが、JF全国女性連では全国共通運動として海難遺児募金運動を推進しています。この運動による寄付は、毎年大きな実績となつて本育英事業を助けています。総会では同運動についても報告がされ、引き続き今年度も運動に取り組むことが決定されました。

佐藤専務の報告は総会議事が終了した後に行われ、日頃の力強い支援にお礼を申し上げたのち「最近漁業界も少子高齢化等で海難遺児数は減少しているが、これは事故が減少したわけではないので、より一層の安全対策が必要。社会保障の充実や女性の雇用機会拡大は、経済面では救済であるが、自身の健康問題や老人介護などで就労できないなど、まだまだ深刻なケースもある。文科省の調べでは幼稚園から大学まで公立で進んでも総額約一千万円ので教育費がかかる」としている。本会としても時

2006(第48)年度JF全国女性連通常総会



代に沿った育英事業のさらなる充実に努めて参りたい」と述べて、引き続きJF女性部皆様のご支援・ご協力をお願いしました。

平成十八年度

第一回奨学生選考委員会

去る五月十日(水)、『平成十八年度第一回奨学生選考委員会』が開催され、「第一回奨学生出願者(四月二十五日締切り)の選考」について審議されました。この結果、新たに幼稚園・小中高等学校在学の学資給与奨学生十三名、高校等在学の貸与奨学生五名(学資給与金と併願)、大学等在学の貸与奨学生十名、合計二十八(実質二十三)名の採用が決定しました。

なお、前年度からの継続奨学生と併せて、新規奨学生を加えた六月十五日現在の奨学生数は、別表「都道府県別奨学生数」(4ページ)のとおりです。

奨学生からのお便り

保護者からのお便り

*救急救命士になる為、一生懸命努力しています。

(北海道 高卒 加澤寛明)

*保育士の資格取得のため勉強しています。

(東京都 専門卒 西崎歩)

*順調に勤務しています。

(愛知県 高卒 宮地良)

*おかげで高校を卒業することができました。私もこの春から働くこととなりました。本当にお世話になりました。

(愛媛県 高卒 河野米衣)

*お陰様で大学そして大学院を無事卒業できました。新社会人として希望や期待よりも、不安や心配のほうが大きいですが、精一杯努力したいと思います。六年間ありがとうございました。

(福岡県 大院卒 川口昌和)

*四月一日から保育士として0歳児を担当しています。毎日頑張っています。奨学資金を貸していたでいて本当にありがとうございました。社会のため自分のために頑張りたいと思います。きつと天国で父が見守っていることを信じて頑張ります。免許をとって本当に良かったです。

(沖縄県 専門卒 野原有加)

*今までありがとうございました。息子は専門学校に進路が決まり自分の目標に向かって新しい生活を始めたところです。親としては四年間がんばり通し資格を得て就職できる事を願っています。今までとても心強かったです。本当に長い間ありがとうございました。

(和歌山県 河原美和子)

*病気と付き合っ無事高校を卒業しました。二年間がんばりましたが、体調が十分でなく職につけませんが、本人の希望でもう少し勉強をしたいとの事で一応予備校に入学しました。ありがとうございました。

(香川県 北條美加江)

*長い間ありがとうございました。お陰様で娘も三月で卒業する事が出来ました。皆様のおかげです。今はルンルンで専門学校についています。二年後を楽しみに私も頑張っていました。

(香川県 水谷恭子)

*おかげ様で娘も中学卒業を迎えることができました。ありがとうございました。大学進学に向けて高校生活を大切に過ごしてほしいと考えております。育英会の皆様には心から感謝申し上げます。

(青森県 笹谷好子)

*おかげ様で娘も中学卒業を迎えることができました。ありがとうございました。大学進学に向けて高校生活を大切に過ごしてほしいと考えております。育英会の皆様には心から感謝申し上げます。

(宮城県 伊藤泰子)

*八年間本当にありがとうございました。おかげさまで息子は専門学校に入学が決まりました。

(宮城県 菊地千代子)

*この春、三人目の息子も高校を卒業して就職する事となりました。三人の子供が社会人として成長しました。長い年月支えて下さった関係者の皆様に心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

(兵庫県 松尾たき江)

*いつもありがとうございます。姉も二十一歳になり、妹も高校に進学できました。主人も亡くなつ

て五年が過ぎました。進学できる

のも育英会のおかげだと感謝して

おります。本当にありがとうございました。

(高知県 山本智賀子)

*お陰様で娘も無事卒業する事が

出来ました。ありがとうございました。

(福岡県 中西良江)

*送金ありがとうございました。息子は高校卒業後、三年間どのような進んでいいのかわ迷っていました。が、やっと目標が見つかり、専門学校に通うことになりました。これから、よろしく願います。

(大分県 濱田千鶴)

*いつも助かっております。一歳一ヶ月だった子供も高校生になりました。感謝無量です。ありがとうございました。

(宮崎県 荒川和江)

*おかげさまで娘が大学に入学できました。息子が在籍していた高校も、卒業と同時に閉校となり、あまりにも寂しい卒業式でした。四月からは心機一転、自分の夢を叶えるべく進学しました。頑張つて欲しいものです。

(鹿児島 上村えつ子)

*おかげさまで娘が大学に入学できました。息子が在籍していた高校も、卒業と同時に閉校となり、あまりにも寂しい卒業式でした。四月からは心機一転、自分の夢を叶えるべく進学しました。頑張つて欲しいものです。

くるくる変わる日本の教育について

神奈川 南三千代

南三千代

最近、英語の早期教育が発音や耳が英語に慣れるから良いとかいつて英語教室の花盛りです。英語が重要ではないとは申しませんが、まず日本人であるからには日本語が話せ、日本語の本もスラスラ読めなくてはなりません。頭の中で考えることは母国語の確立なしでは無理だと思います。今の教育方針を見ていると土台を造らず、先ばかり急いでいるように感じます。

ウンサーが、原稿の「旧中山道」と読んだという笑えない話があります。自分の国のすがたを知らないで報道出来るでしょうか。そういうことが今の市町村合併の命名にも、さくら市・かほく市・うきは市等々、何の意味があるのか頭を傾けたくなる名前の出現です。アウンサーが「ショウロ」が採れる季節になりました」といえばテロップにも「ショウロ」と出ます。

赤松の根元に出来る「松露」なの

です。漢字のほうが分かりやすいと思います。昔は片カナは外来語、擬音などに使っていたように記憶しています。もっと日本を知り、伝統も大切に考えたいものです。国会では日本国を愛する心を育てようと議員が色々いってますが、それは「日本を知る」ことで愛する心が生まれるのではないのでしょうか。

空をゆく

一とかたまりの

花吹雪

※俳句では「花」というのは桜の花を指す

―新入生へ贈る

竹伐りも

弟子の二、三年

勤めねば

※竹細工の竹も上手に伐らないとよい竹細工の材料とはならない意。素十は医学部教授だったので、卒業する医学生にこの句を色紙に書いた。

―卒業生へ贈る



皆さんからのお便り
お待ちしております！

寄付者からのお便り

*長期間にわたり奨学金の給与ありがとうございました。息子もこの春無事に高校を卒業し、専門学校へ進学致しました。これからも息子を見守っていききたいと思ひます。

(鹿児島 橋口あや子)

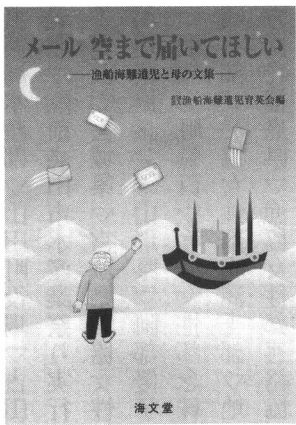
*紫陽花の美しい頃になり、雨の中のウォーキングもたのしいものです。もうすぐ夏、遺児達もたのしみにしてるでしょうね。元氣でがんばって。

(千葉県 福田昌佳)

*新学年が始まりました。遺児の皆さんの御幸せを心よりお祈りしております。心ばかりですが、今年も寄付をお送り致します。

(鹿児島県 富元小松)

朝日新聞「天声人語」にて文集紹介される



四月十七日(月)の朝日新聞「天声人語」で本会制作の「漁船海難遺児と母の文集—メール 空まで届いてほしい」が紹介されました。

本会に取材の申し込みがあったのは三月の下旬、新聞社宛てに配布していた文集を読んでくださった上でのことでした。思いがけないお話ではありましたが、全国の皆さんに本会育英事業を知っていただく良いきっかけになればと、有り難くお受けすることとなりました。

お陰様で、新聞の反響は大きく、記事を読んでくださった多くの方々から「文集が欲しい」「寄付をしたい」などの問い合わせをいただきました。

ここで改めて当日の掲載記事と文集より島尾喜美子さん・敏之くんの作品をご紹介させていただきます。取材に快くご協力くださいました島尾さんご家族に心より感謝申し上げます。

天声人語

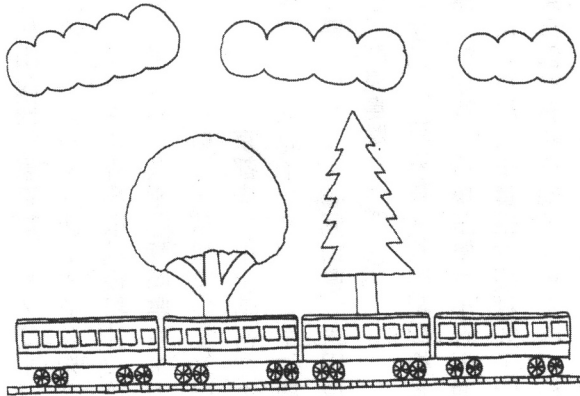
島尾優さんは徳島県阿南市の漁師だった。とてもやさしい人で、漁から疲れて帰っても二人の子とよく遊んだ。五年前の春、沖合で

操業中に漁網の巻き取り機に巻き込まれて亡くなった。四十五歳だった▼そうした父の思い出を書いた長女で高校二年の喜美子さんの手記が「メール 空まで届いてほしい—漁船海難遺児と母の文集」に収められた。事故のとき、喜美子さんは小学五年だった。「とても悲しかった」とつづり、「母はショックのあまり、食べ物などの通らないほどだった」と書いた▼どうやって立ち直ったのですか。母親の抄子さんに尋ねた。寝込んでいた抄子さんのそばで、喜美子さんが「試練はな、乗り越えてこそ完璧やろ」と言ったそう。

そんな難しい言葉をどこで覚えたのか。きつと夫が言わせているのだと思つた▼文集には、一つ違ひの弟の敏之君が風景などを描いた絵も載っている。敏之君は自閉症だ。支えてくれた人々たちへの感謝の思いを込めて、これまで作品展を二回開いた▼文集をまとめた漁船海難遺児育英会は一九七〇年に発足した。月に一万一千五百円の奨学金を幼児から大学生までの約四〇〇人に出している。漁船の事故は後を絶たず、毎年二〇〇人を超える漁師が海で命を落とす。喜美子さん姉弟も奨学生だ▼島尾さん宅は目の前が船着き場だ。優さんが乗っていた漁船が見える。喜美子さんは「お父さんがいないからこそ、がんばって、夢を一つ一つ実現させていきたい。それが私たちを支えてくれた人への恩返しだと思ひます」と語る。

私の家族

徳島県 中学校三年 島尾喜美子



「ただいま」

台所のドアを開けると、

「お帰り。ご飯出来とるよ」

という母の声と、にこにこしている弟が、私を迎えてくれます。

私の父は漁師をしていました。

漁から疲れて帰ってきてても、よく遊んでくれました。すごく優しく、私は父の事が大好きでした。しかし、三年前の三月、父は漁をしている途中で事故にあい、亡くなりました。父が亡くなって、母はショックのあまり、食べ物などの通らないほどで、私もとても悲しかったです。

家族三人となりましたが、毎日支えあって暮らしています。母は明るくなり、今では毎日私達を笑わせてくれます。

私には中学二年の弟がいます。弟は三歳の時に自閉症と認定されました。現在は同じ中学校の障害

児学級に通学しています。言葉の遅れが著しいため、コミュニケーションもとりにくく、音や光、刺激などに対する反応も、私達とは全く違います。そのため、理解不足からくる、心ない言葉や態度に、つらい思いをした事がありました。

私が小学校入学の時、母が学習机よりこつちがいいと言って、大きな食堂テーブルを私にくれました。その日から、弟がその机で絵を描き始めたのです。それまで、パニックばかり起こしていた弟ですが、絵を描く事で、情緒も安定してきました。私達を見守ってくれている先生方、近所や知り合いの人に感謝の思いをこめて、弟の作品展を二回開き、多くの人が来てくれました。

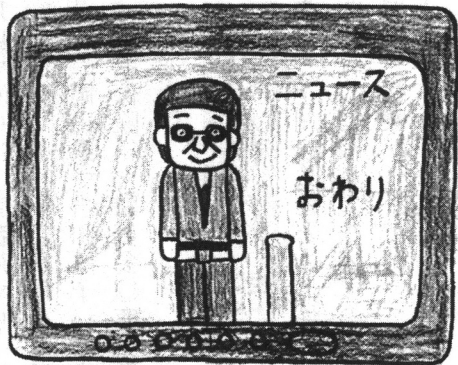
今でも相変わらず、理解できる言葉は少ないのですが、その分、表現力が豊かで、弟が描いた絵や造形作品を見ると、心がほっとする、と言ってくれる人がたくさんいます。また、弟は、私が泣いていると、ティッシュを持ってきてくれたり、私を、どうにかして笑わせようとして、励ましてくれます。自閉症という障害は持っていますが、弟は私にとって、大切な存在です。周りの人や友達も親切で、私達兄弟はとてもいい環境にいると思います。

私は理科が大好きです。将来科学者になりたいと思っています。また、外国の文化を知り、外国の人と交流を図りたいと思っています。それで、高校でも、将来の夢に近づけるように、理科や英語の勉強にもっと力を入れて、外国の人と話をするなど、交流していきたいと思っています。

高校へ合格するために、今勉強に打ち込んでいます。でも、学校と塾での勉強は疲れ、もっと寝たい時もあります。しかし、応援してくれる人が周りにたくさんいるのだから、もっとがんばろうと思っています。

父の死、弟の事で、いろいろ大変な事がありました。私には目標があった事、支えてくれたたくさんの人達がいたからこそ、現在の自分があるのではないかと思います。

私は学校で勉強する事が、支え

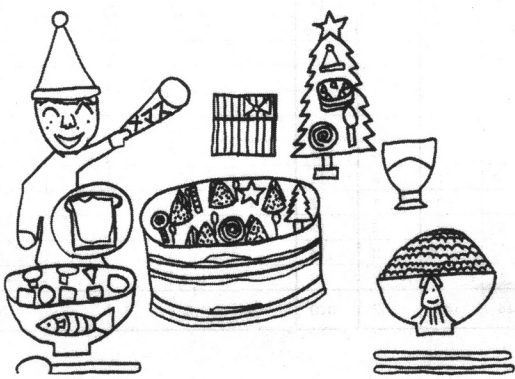


第二回

今から〇年前…。新人紹介で携わったきりすっかり読者側になつていましたが、今回より小さなスペースを頂きまして。このスペースを利用して、皆さんが育英会を身近に感じられたらいいなと思います。記念すべき第一回は事務

所がある神田のご紹介をします。私からみた神田の位置は世界でも

てくれた人達への恩返しだと思っています。思いもよらない苦労や、悲しい事があっても、そんな事に負けないで、乗りこえていけば、必ず幸せになる事ができる。私はこれから何があっても諦めない。自分に負けない心で、一つ一つ目標を達成していけるようになります。そして、今度は私が周りの人を支えてあげる人になりたいです。



※喜美子さんの学年は、作品制作当時のものです。また、イラストは、弟・敏之くんの作品です。

有名な秋葉原と洗練されたOLがいそう丸の内の間にあり、人種的には「おじさん」というサラリーマンで溢れているので、駅の周りには安い飲み屋や蕎麦屋やがひしめき合っている存在です。今では見慣れましたが、朝から立ち食い蕎麦をすすっているサラリーマンが普通に居ます！(初めて見たときは私は絶句しました。)

自慢出来る事は、安いお弁当屋さんが沢山ある事で、三百円でお釣りが出るカレーがあったり、四百円でお釣りが出る幕の内もあります。皆さんも近くに来たときは立ち寄ってみて下さいね。(k)

育英基金

「募金・ご寄付」のお礼

平成十八年三月から平成十八年五月までにご寄付をいただいた方々のご芳名を掲げ、厚くお礼申し上げます。

※ご芳名（敬称略）

一、漁協系統募金（各都道府県の漁連、信漁連等で構成する「漁船海難遺児を励ます地方協議会（略称・地方協）」等で取り扱った分で、一般寄付を含みます。）

〔三月〕◎北海道▽丸本本間水産（株）▽松田一志◎岩手県▽秋さけ消費拡大推進協議会▽岩泉町役場▽大槌町役場▽大船渡市▽大船渡市記者クラブ▽大船渡地方振興局水産部▽釜石市水産課▽釜石地方振興局水産部▽共友会▽漁業信用基金協会▽漁業取締事務所▽漁港漁村課▽漁港漁村協会▽漁船保険組合▽漁婦連役員OB会▽久慈市水産振興協議会▽久慈地方振興局水産部▽久慈東高等学校▽栽培漁業協会▽水産技術センター▽水産振興課・団体指導課▽全国海友婦人会宮古支部▽定置漁業協会▽転勤奥様料理教室▽農林中央金庫盛岡支店▽宮古下閉伊モノづくり委員会▽宮古市役所水産課▽宮古地方振興局水産部▽山田町役場▽吉田義憲▽陸前高田市水産業祭り実行委員会◎宮城県▽宮城県漁協女性部連絡協議会◎山形県▽阿部優子▽旧温海町職員▽漁協女性部念珠関支部▽漁協女性部吹浦支部▽地方協◎福島県▽漁協女性部連絡協議会▽漁連職員厚生会▽水産グループ▽水産試験場▽水産事務所▽財団法人栽培漁業協会▽福島県無線漁業協同組合◎新潟県▽岩船さ

かなまつり▽共水連新潟県事務所▽漁業共済組合▽漁業信用基金協会▽漁船保険組合▽佐渡地区漁協連絡協議会▽水産振興協会▽鈴木三也▽山北さかなまつり基金▽田名部和宏他▽能生町漁協底曳網女性部▽地方協◎福井県▽地方協◎三重県▽伊勢志摩海洋国際会議実行委員会▽尾鷲海上保安部▽鳥羽海上保安部浜島分室▽西村昭史▽農林水産支援センター▽浜口莞治▽マリンバンクみえ伊勢鳥羽支店▽四日市海上保安部◎京都府▽地方協◎和歌山県▽森啓◎岡山県▽入江敏明▽香典返し◎広島県▽大竹かき水産祭実行委員会▽地御前かきチャリティーバザール実行委員会▽藤本千代幸▽香典返し▽地方協◎香川県▽向山武◎愛媛県▽地方協◎福岡県▽漁船保険組合▽地方協◎長崎県▽大東錫枝▽佐世保市相浦漁協女性部▽地方協◎大分県▽安達善博▽梅田水産（有）梅田貴也▽蒲江漁業青年部連絡協議会▽高橋誠▽富高浄▽福永庄一郎▽ポトラインサービス（有）土井克也◎鹿児島県▽鹿児島まぐろ同友会▽北さつま漁協長島支所青壮年部▽漁船保険組合▽地方協

〔四月〕◎北海道▽JF共済推進本部▽設立十周年を記念して◎青森県▽地方協◎京都府▽嵯峨障一香典返し◎大阪府▽地方協◎山口県▽地方協◎長崎県▽馬渡健二▽井上俊昭▽原修▽地方協

〔五月〕◎愛知県▽地方協◎京都府▽上田ヨシ枝▽ご主人のご遺志◎山口県▽笹倉宣也（有）森本商店◎佐賀県▽第56回浅海増殖研究発表全国大会募金◎長崎県▽笹山定一▽香典返し▽渡邊英一▽香典返し

〔三月〕◎青森県▽大山チセ◎宮城県▽翔洋船舶（株）取締役齋藤政雄◎埼玉県▽小野沢通▽富元克昌◎千葉県▽飯村久子◎東京都▽海文堂出版（株）▽三水会▽称念寺▽（株）ヨイ企画▽北見恭子ひな祭りライプ募金▽水産庁漁港漁場整備部防災漁村課▽全国漁協女性部連絡協議会▽（社）全国底曳網漁業連合会会長理事今村弘二▽ニチレイふれあい基金▽（社）マリノフォーラム21◎神奈川県▽東京魚業協同組合青年部連合会▽日本大学生物資源科学部海洋生物資源科学科▽横浜水産物商業協同組合青年部◎新潟県▽（株）糸魚川魚市場▽第九管区海上保安部◎静岡県▽水産試験場浜名湖分場◎京都府▽中上清吾◎奈良県▽（株）南都水産◎鳥取県▽浜野茂夫◎岡山県▽吉田厚子◎山口県▽全国海友婦人会下関支部支部長遠藤澄子◎鹿児島県▽富元小松◎沖縄県▽（株）水産総合研究センター八重山栽培漁業センター

〔四月〕◎岩手県▽佐々木強◎宮城県▽女川町漁協小乗浜支部支部長永沼立雄▽全日海東北地方支部經由◎埼玉県▽小野沢通▽富元克昌◎千葉県▽飯村久子▽佐原芳隆▽松田茂樹◎東京都▽（株）久能木コーポレーション▽武田智子▽（株）ポータルウェル事務取締役松井敦◎富山県▽布目久幸◎静岡県▽東海大学船舶運航課・望星丸◎愛知県▽林和子◎京都府▽中上清吾◎大阪府▽高瀬恵子▽タニダミキ◎鳥取県▽浜野茂夫◎岡山県▽吉田厚子◎鹿児島県▽富元小松

〔五月〕◎茨城県▽野口紀◎栃木県▽横尾祥子◎埼玉県▽小野沢通▽富元克昌◎千葉県▽飯村久子◎東京都▽石崎三輪子▽榎本みつ枝▽友田久美子▽長谷川美代子◎神

編集後記

先日、上司二人とともに佐賀へ出張に行った帰りの空港での出来事です。搭乗ゲートで待っているとき、突然アナウンスが。「〇〇〇便をご利用のお客様にご案内申し上げます。本日、この便は満席により座席が不足する可能性があります。えっ、何？既にチケットが発券されているのに席が不足し

ちやうワケ？それってダブルブッキングってことじゃないの？なんて考えてると隣に座っていた上司の一人が「一万円か。結構いいおこづかいだなあ」とポツリ。そのうなのです！アナウンスには続きがあった、この後の便に変更してくれる人には一万円もしくは同等のマイルをプレゼントしてくれるというのです。これって…おいしい☆帰る時間を一時間ほど遅らせるだけで一万円ですよ！幸い、その日は急いで帰らなくてはならない予定もないし。悩んだ挙げ句、上司二人にお許しをいただき、足取り軽くチケット変更協力者が並び列の方へ。ああ、この一万円をどう使おうかし、世の中そんなにうまくはいかないものなのです。特に欲深な人間に対しては。この協力者の募集は、先着十名まで。航空会社の予算にも限度がありますから（笑）客室乗務員が、列の先頭に並んだ人から数を数えていくと、ちょうど私の前で十名終了。「お客様、残念ながら十名様のみとなりますので。ご協力ありがとうございました」「：」というわけで、私は無事、上司達と仲良く定時通りに東京へ帰ることが出来たのでした。（M）

都道府県別奨学生数

（平成18年6月15日現在）

都道府県名	給与奨学生					貸与奨学生			合計	平成18年度第1回採用者						合計
	幼児	小学生	中学生	高校生等	小計	高校生等	大学生等	小計		幼児	小学生	中学生	高校生等給与	高校生等貸与	大学生等	
北海道		24	18	18	60	1	7	8	68					1		1
青森		5	1	5	11		3	3	14						1	1
岩手	1	5	3	7	16	3	2	5	21	1				1		2
宮城	2	7	6	8	23		1	1	24	1	2					3
秋田				1	1				1							
山形		1			1		1	1	2							
福島		2		3	5				5							
茨城			1		1		2	2	3						1	1
千葉	1	5	6	3	15				15							
東京		2	1	1	4		2	2	6						1	1
神奈川																
新潟	1	1	2		4				4							
富山																
石川	1	1		1	3		2	2	5						1	1
静岡		1	2	2	5				5							
愛知				1	1				1							
福井																
三重			1		1				1							
京都				2	2				2							
大阪			3		3		1	1	4							
兵庫		5	4	5	14		4	4	18		3				2	5
和歌山			1	2	3				3							
鳥取	1	1	1	3	6		1	1	7							
島根		3	3	6	12	1		1	13							
岡山	1	1			2				2							
広島		1	1		2		1	1	3							
山口		5	2	5	12	1	2	3	15					1		1
徳島			3	4	7		1	1	8							
香川		2		1	3		1	1	4							
愛媛		4	3	4	11	3		3	14					1		1
高知			5	4	9				9							
福岡	1	3		1	5				5							
福岡有明海																
佐賀有明海			1	1	2				2							
佐賀有明海																
長崎	3	2	4	9	18	1	3	4	22	1						1
大分		3	1	2	6		5	5	11						2	2
熊本	1		3	2	6		1	1	7	1			1		1	3
宮崎		5	2	9	16	3		3	19		1	1	1	1		4
鹿児島	1	4	2	5	12		2	2	14							1
沖縄	1	4	1	5	11	1	1	2	13							
合計	15	97	81	120	313	14	43	57	370	4	6	1	2	5	10	28

*学資給与奨学生の高校生等には養護児を含む。
*奨学金貸与奨学生には入学一時金のみ奨学生を含む。
*平成18年度第1回採用者は内数である。